## プログラム

13:00 開場

13:30 開会あいさつ

13:45 伊藤亀堂さん講話

14:15 ベアーテ・ヴォンデさん

講話

14:45 河原徳子さんと

衣斐弘行さんとの対談

15:25 10分の休憩

15:35 4人のトーク

16:05 質問

16:25 閉会あいさつ

16:30 終了



衣斐弘行(いび こうぎょう)

1947 年鈴鹿市生まれ 鎌倉円覚寺専門 道場で朝比奈宗源老師につき禅修行。現 在、臨済宗東福寺派大泉寺住職。花園大 学講師、鈴鹿市文化財調査会会長。

・1979年「三重県文学新人賞」

・1990年「三重県文化奨励賞」

- ・2009年第3回「清水信文学賞」
- ・2011年「三重県文化功労賞」
- ・2014年「三銀ふるさと文化賞」各受賞

共編著書:『評伝 齋藤緑雨』、『齋藤緑雨全集』(第8巻書簡編と月報)、『日本名刹大事典』、『日常の禅語50選』(上・下)、『丹羽文雄文学辞典』、小説集『金閣異聞』など多数。現在月刊誌「大法輪」にエッセイ連載。1975年から文芸同人誌「火涼」主宰(現在74号刊行)し小説、評論を発表。

## 登壇者紹介

伊 196 198

伊藤亀堂(いとう きどう)

1964年 三重県鈴鹿市出身 1984年 父、亀吉に師事

1995年 鈴鹿製墨協同組合専務理事就任

1996年 第1回「鈴鹿墨展」開催

(以降毎年開催)

1998年 進誠堂墨舗代表となる

2000年 業界初の8色墨完成 (雪月風花)

通商産業大臣指定伝統工芸士に認定される

2001年 業界初の1分墨(超早おり墨)完成 伝統文化ポーラ (POLA) 奨励賞受賞 鈴鹿市「夢工房」講師となる

2002年 鈴鹿市伝統工芸士会副会長就任

2003年 社名を有限会社進誠堂とする。同代表

2004年 業界初16種類の植物油煙墨完成

銀座かねまつホールにて「書象と墨美展」開催

2005年 鈴鹿製墨協同組合代表理事就任 2007年 雅号 墨匠 伊藤亀堂 とする

2008年 三重県知事賞受賞,中部経済産業局長賞受賞

2010年 「梅干しとうなぎ」出版

2012年 12月1日「鈴鹿市政功労者表彰」受賞

2013年 11月経済産業大臣賞受賞

2014年 11月卓越した技能者表彰 - 現代の名工 - 授賞



ベアーテ・ヴォンデ(ヴェーバー)

1973年からベルリン・フンボルト大学で日本学、英語学、演劇学を専攻。卒業後、早稲田大学に留学。1984年のベルリン森鴎外記念館設立依頼、記念館の職員として多種多様な活動を通して鴎外の紹介に務める。ちなみに今まで50展以上の特別展示を企画実行。講演会や出版物のテーマは主に「森鴎外」、

「日本とドイツの演劇」、「医学史」や「文学」と「日独関係」等。



河原徳子(かわはら とくこ)

徳島市生まれ。

「朗読文学サークル パティオ」(4部門)主宰 (パティオ朗読読書会・『源氏物語』を原文で読む・文章教室「円虹(まるにじ)」・よっかい ち朗読文学の会)

三重県生涯学習センター・三重県立図書館・鈴 鹿市民大学文芸学科・愛知県豊明市立図書館・

愛知県安城市中央図書館・菰野町文学講座・五十鈴塾文学講座・ 亀山市文学講座 その他で、古典文学から近代文学まで文学講座 講師を務める。

## このトークイベントについて

講師のベアーテ・ヴォンデさんは、現在、ベルリンのフンボルト大学森鴎外記念館で学芸員として、また、 クリエイティブ・ディレクターとして活躍されています。

ヴォンデさんと以前より交流のある小川さんは、今年3月リニューアルされた同記念館を訪問した折、ヴォンデさん所蔵の鈴鹿墨を見せられ「将来、森鴎外記念館で鈴鹿墨の展示が出来たら嬉しい」との希望を明かされました。実は、ヴォンデさんは、日本学術振興会外国人招聘研究者として2010年に来日された2か月間に、東京、津和野、小倉の森鴎外記念館を研究訪問。三重大学滞在中には、鈴鹿墨工房も訪問されていたのです。

そこで、今回のヴォンデさんの来日は絶好のチャンス。「鈴鹿でイベントが開催されたら、彼女の夢である森鴎外記念館での『鈴鹿墨の展示』の実現につながるのでは?そうなれば「鈴鹿墨」がベルリンでデビューするかも?!」という考えが小川さんに浮かびました。

この妄想とも夢ともつかないアイデアの相談を受けた友人永戸さんは「ヴォンデさんの企画が実現されれば、こんなに素晴らしい事はない」と協力を快諾し、このトークイベントが企画されました。

また、本イベントの企画中、ヴォンデさんとイベント講師の皆様とは、かつて交流があったことが判り 素晴らしい"ご縁"を感じております。